

きずな

基本理念

「信頼」と「貢献」

思いやりを持った医療を行い、皆様から信頼される病院を目指すことで地域社会に貢献することを基本理念といたします。

基本方針

- 患者中心の医療
患者様の権利を尊重し、患者様の視点に立った、患者様に優しい病院となるように努めます。
- 自治体病院としての役割
地域の中核病院として地域医療の確保と地域医療水準の向上を図り、質の高い医療の提供に努めます。
- 病院機能の充実・強化
医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を図り、適切な医療サービスの提供に努めます。
- 地域連携
地域の医療者・施設と連携を図り、地域住民の医療・保健・福祉・介護に貢献します。
- 職員の資質の向上
職員一同が相互に協力・連携を図り、医療の安全性と医療水準の向上に積極的に取り組み、日々研鑽に努めます。
- 働きやすい職場環境
病院職員が誇りを持ち、やりがいをもって働き続けられる職場づくりに努めます。
- 健全経営
効率的な経営管理を行い、自立した健全経営に努めます。



CONTENTS May 2014

02 乳癌検診について

看護部

05 在宅支援室へようこそ 潜在看護師再就業講習会のお知らせ

事務部

06 出前講座開催のお知らせ／外来診療担当一覧表

08 新任医師紹介(2名)／院内合同研究発表会 健康まつり

新居中学校の生徒による演奏

Vol.

19

乳癌検診について

外科 鈴木 章男

乳癌検診が導入された経緯

乳癌検診には自分で行う自己検診と集団検診があります。が集団検診については1987年(昭和62年)に老人保健法で30歳以上に問診、視触診検診を逐年で行うという形で全国に導入されました。その後2004年度には40歳以上はマンモグラフィ併用での検診を行うとする通達が生労働省から出されました。湖西市でも数年前から乳癌検診は視触診とマンモグラフィの両方で行われています。

乳癌の現状

●罹患者率

日本人女性の乳癌は1994年には胃癌を抜いて、罹患者率で第1位になりました。

現在年間約4万人が新たに罹患され近年40歳代の女性の

発症が増加しておりますが30歳代の発症も散見され罹患者の若年化がみられています。

その原因として日本人のライフスタイルの欧米化が関連していると言われておりますがその他未婚、未出産歴、高齢出産も関係していると言われております。

●乳癌の予防

残念ながらからからないようにする方法はありませんが危険因子を減らす事は可能と思われます。たとえば閉経後の過度の肥満を避ける事などは乳癌の予防にある程度は役立つと思われます。また自己検診や乳癌検診は乳癌の早期発見に有用と考えられます。

自己検診について

乳房の中にできるしこりは外から触れる事ができ、乳癌は自分で発見できる唯一の癌と言

われています。乳癌の自己検診は繰り返し行う事が大切で、毎月1回自己検診する事で自身の乳房の通常の形と触れ心地がわかるようになります。

閉経前の女性では、月経2〜3日前に乳腺組織は大きくなったり硬くなったりするので、自己検診をする時期は乳房の緊張や腫れがほとんどなくなる頃、すなわち生理が終了した2〜3日後が最適となります。

一方、閉経後の女性は毎月の女性ホルモンの変動が無く乳房の感じは変わらないため毎月1回、自分で検診する日を決めてください。



自己検診の方法

女性が裸で鏡の前に立てるのは入浴する時だと思えます。乳房の自己検診も医師の診察と同様に視診と触診に分かれています。お風呂に入った時に自分の乳房を鏡で見たり(視診)触つて(触診)調べると良いと思えます。自己検診の実際の方法については市立湖西病院の健診センターにパンフレット等を用意しておりますので健診センターにお尋ね頂けると幸いです。

自己検診の意義と問題点

しかしながら乳房の自己検診さえ行っていれば大丈夫でしょうか? 乳房の自己検診を行っていても自分でしこりと認識できなかったり、わかりにくい乳癌のしこりもあります。しこりとして触れないのは、人間の指で感じられるまで癌が大きくなっている

ない事も理由の一つです。従って自己検診だけ行っていれば大丈夫というわけでもありません。また自己検診の目的はしこりの有無のチェックであり、癌の有無をチェックすることではありません。しこりを見つけたら医師の診察を受ける必要があります。乳癌を見落とさないようにするにはやはり自己検診のみではなくマンモグラフィーを伴った集団検診が必要となります。特に大きな乳房の女性是自己検診のみではしこりを見落とす事があります。自己検診は月1回、また2年に1回は集団検診を受診される事をお勧め致します。

乳癌集団検診について

先に近年の乳癌の罹患率の増加について触れましたが現在行われている乳癌検診は前述したように視・触診だけではなくマンモグラフィーと組み合わせられて



おります。従来の視・触診で行った検診で、女性1000人中0.2~0.4人の乳癌発見率がマンモグラフィー検診では4~7人の乳癌が見つかったとの報告もあります。高性能のマンモグラフィー導入により乳癌発見率は約10倍高くなる事になります。

しかもその発見された乳癌の多くは熟練した医師でもしこりとして触れない早期乳癌です。確かにマンモグラフィーで写らない乳癌も5~10%あるといわれているのも事実であり完璧では

ありませんが、その意味でも視・触診とマンモグラフィーが組み合わせられている事には意味があります。検診で要精密検査、要受診と診断された方は健診センターで手続きをして2次検査を受けてください。2次検査では一般的に超音波検査を含めた診察を行います。検診で異常を指摘されても必ずしも悪性とは限りません。2次検査の結果で経過観察や今後2年毎の検診を勧められる方が多数です。

湖西市でも毎年乳癌検診は4月から10月まで行っており、検診には市から経済的な補助が出ております。お知らせを受け取られた市民の皆様は検診を受けられる事をお勧め致します。

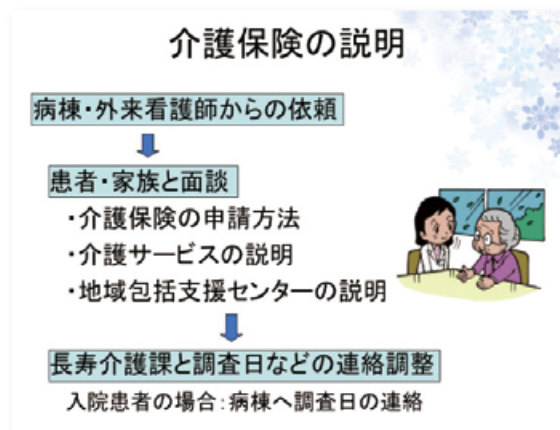
参考文献: 乳癌テキスト(南江堂)
乳がんケアQ&A(総合医学社)
乳癌診療ガイドライン(金原出版株式会社)

退院後も外来で引き続き支援させていただきます。

外来受診時には、在宅での様子をうかがい、療養上で困っていることや新たな問題が発生した場合は訪問看護師やケアマネジャーへ情報提供をしていきます。また療養上の相談や指導や介護相談なども行っています。

介護保険の説明も行っています

介護保険がわからない、申請方法がわからない、介護保険で利用できるサービスを知りたい、サービスを利用するといくらぐらいかかるのか知りたい、申請後に介護度が出るまでの間どうしたらいいのか知りたいなど介護保険についての疑問や質問がある方は、病棟看護師・外来看護師・総合受付に声をかけてください。



患者さんの「家に帰りたい」という思いや、家族の「早く帰ってきてほしい」という思いを大切に、患者さん・ご家族の方が納得できる最善の方法と一緒に考えていきたいと思っています。不安なく在宅療養が行えるよう支援させていただきます。

在宅支援室は、月曜日から金曜日の午前9時～17時まで、開いております。

場所は、1階売店の隣にあります。お気軽にお立ち寄りください。場所がわからない方は病院スタッフ・総合受付でおたずねください。

平成26年度 潜在看護師再就業講習会

看護師の免許をお持ちでも現在働いていない方、現場から離れて職場復帰に不安を抱いている方などを対象に、職場復帰を支援する講習を行います。

実施日 ● 平成26年6月18日(水)・19日(木)・20日(金)の3日間

9:00～15:30

場 所 ● 市立湖西病院 講堂

対 象 ● 看護師免許取得者

その他 ● 院内保育所利用について相談に応じます。

院内駐車場利用可(無料)

※随時相談に応じますので、ご連絡ください。

連絡先 ● 市立湖西病院 看護部 伊藤靖子 ☎053-576-1231



在宅支援室へようこそ

看護部 田中 結子

在宅支援室では、患者さんやご家族の方が、住み慣れたご自宅で安全に医療を継続し、安心して生活できるように支援いたします。

在宅医療への移行や、介護上の問題などを在宅支援看護師がケアマネジャー・訪問看護師・社会福祉士などと連携し、患者さんやご家族の方と話し合いながら、一人ひとりに合わせた在宅医療を進めていきます。

地域の医療機関、訪問看護ステーション、福祉・介護サービス機関とも連携できるように、調整の窓口にもなっています。



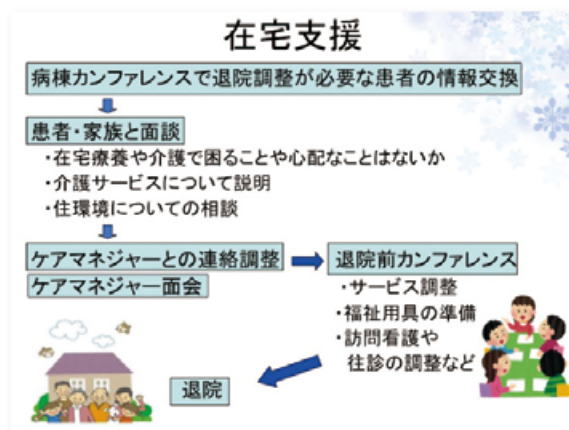
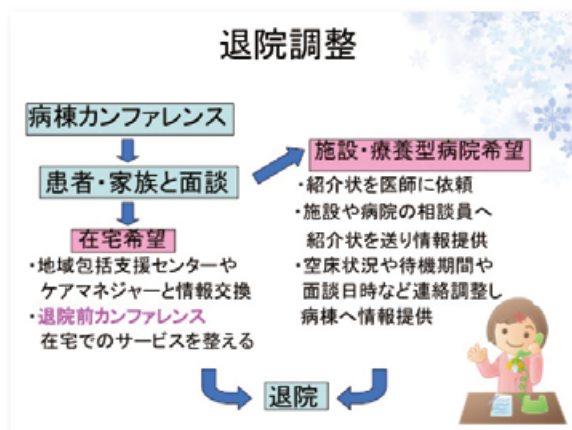
なぜ、在宅支援が必要なのでしょう？

高齢の方は入院による環境の変化で寝ていることが多くなったり、認知症の症状が現れたり進行したりすることがあります。このようなことから、入院前のような自宅での生活が困難となってしまうことが多いのです。

そこで、入院された患者さんやご家族の方が不安なく退院できるよう、退院調整を行っています。

患者さんやご家族の方と面談を行い、思いや希望をうかがいます。施設や療養型病院を希望される方には、その患者さんに合わせた施設や療養型病院を紹介させていただき、転院まで相談員の方と連絡や情報交換を行っています。

在宅への退院を希望される方には、地域包括支援センターやケアマネジャーと連携し、退院前カンファレンスを行い在宅でのサービスを整えます。退院前カンファレンスには患者さんやご家族の方も参加していただき、希望されるサービスについて一緒に考え、在宅での療養環境を整えていきます。



出前講座・健康教室を開催します

平成26年度から出前講座・健康教室を開催します。出前講座・健康教室は市民の皆さんが開催する集会などの場に病院職員を講師として出向き、病気の予防や食生活の改善などについて分かりやすくお話しします。どなたでもお気軽にご利用ください。

対象者 市内在住・在勤・在学で10人以上の団体・サークルなど。

- 申込方法**
- ①講座メニューの中から、受講したい講座をお選びください。
 - ②希望する講座の担当部署へお問い合わせください。日程や内容について打ち合わせをします。
 - ③会場は申請者が手配をしてください。



お願い 出前講座・健康教室は苦情や要望を扱うものではありません。講師料(謝礼や交通費など)は無料です。食事などの準備も必要ありません。

講座名・教室名	担当部署	連絡先
健康寿命をのばす食生活について	栄養科	TEL 576-7316
発達障害について	リハビリテーション技術室	TEL 576-7305
腰痛予防教室	リハビリテーション技術室	TEL 576-7305
輸血の安全性と危険性について	臨床検査科	TEL 576-7315
診療放射線技師の仕事①(学生(小・中・高)を対象)	放射線科	TEL 576-7314
診療放射線技師の仕事②(一般市民の方を対象)	放射線科	TEL 576-7314
医療被ばくについて	放射線科	TEL 576-7314
後発医薬品(ジェネリック医薬品)について	薬剤部	TEL 576-1231
病院薬剤師の仕事について	薬剤部	TEL 576-1231
糖尿病のお薬について	薬剤部	TEL 576-1231
輸液を中心とする栄養管理について	薬剤部	TEL 576-1231
痛み止めの種類と使い方	薬剤部	TEL 576-1231
感染対策について	看護部	TEL 576-1231
介護教室	看護部	TEL 576-1231
褥瘡予防対策について	看護部	TEL 576-1231
フットケアについて	看護部	TEL 576-1231
命の大切さ	看護部	TEL 576-1231
災害時の対応について	看護部	TEL 576-1231

市立湖西病院 外来担当一覽表

平成26年4月4日現在

内科		月	火	水	木	金
総合内科	午前	鈴木千	寺田肇	浅井宣 浄宇 (交代制)	小野 (血液内科) ☆鈴木千	鈴木千
	午後			☆乾		
循環器内科	午前	井口	宣原	寺田肇	宣原	浄宇
	午後	浄宇	浅井	井口	浅井	佐藤
免疫内科	午後		☆鈴木大(1週) ☆小川久(3週) ☆小川滋(5週)			
消化器内科	午前	佐原	堀尾	大橋	堀尾	大橋
呼吸器内科	午前	原田	榎本		橋本	柄山
神経内科	午前					☆寺田肇 (第4週を除く)
内分泌科	午前 午後		☆柿沢			
糖尿病外来	午後	☆寺田久				☆浅井 (隔週)
腎臓内科	午前	☆加藤明				
禁煙外来	午後			☆乾		

☆印の医師の診察は予約制です。

※免疫内科の診察は13時30分からです。

外科		月	火	水	木	金
午 前		柴崎 (10時から)	中島	杉澤 (10時から)	鈴木章	菊池 (10時から)
		鈴木章		鈴木章 (乳癌)	田中 (血管外科) (10時から)	鈴木章
		中島 (10時から)	佐野 (血管) (10時から)	中島		
午後	専門外来			☆神谷		
	呼吸器外科			船井和 (14時から)		
	心臓血管外科			☆山下 (24週) (14時から)		

☆印の医師の診察は予約制です。

※呼吸器外科の受付は16時までです。

泌尿器科		月	火	水	木	金
午 前		中西	中西 (11時まで) 谷島 (11時から)	中西	中西 (10時まで) 谷島 (10時から)	中西
		谷島 (11時まで) 青木 (11時から)	青木	大塚	青木	青木

小児科		月	火	水	木	金
午 前		夏目	夏目	夏目	夏目	夏目
	午後専門外来	☆夏目 (内分)	☆田口 (アレルギー) (2,4週)		☆宮本 (神経) (1,3週)	☆田口 (アレルギー) (1,3週)
		☆岩島 (循環器) (4週のみ)	☆夏目 (乳癌光健診)		☆夏目 (内分)	☆松林 (神経) (1,3週)

☆印の医師の診察は予約制です。

産婦人科		月	火	水	木	金
午 前		三宅	三宅	三宅	三宅	三宅

※平成19年8月からは分娩は休止中です。

※水曜日の受付は11時までです。

耳鼻咽喉科		月	火	水	木	金
午 前		船井	船井	船井	船井	船井
午 後		☆特殊検査		☆学童診察		

☆印は予約制です。

専門外来		月	火	水	木	金
午前	脳外科			稲永 (隔週)	山本 (隔週)	
	心のケア	※心のケアの診察は月1回です。				☆鈴木肇
午後	皮膚科		糟谷 (1,3,5週) 龍野 (2,4週)		伊藤泰 (1,3,5週) 藤山 (2,4週)	

☆印の医師の診察は予約制です。

※皮膚科外来の新患受付は15時までです。なお、診察は13時30分からです。

眼科		月	火	水	木	金
午 前				須藤		
午 後			☆小島			

☆印の医師の診察は予約制です。

※11時以降は予約患者様のみの診察となります。

整形外科		月	火	水	木	金
午 前		杉谷	杉谷	杉谷	杉谷	大和

形成外科		月	火	水	木	金
午 前					藤原	

※各科診療は、医師の都合等により変更または休診となる場合があります。

ペインクリニック		月	火	水	木	金
午 前					岩本	

※紹介患者様のみの診察となります。

新任医師紹介

①診療科(専門分野または得意分野)②出身地 ③当院の第一印象
④趣味 ⑤ひとこと(抱負、最近思うこと等)

平成26年4月1日から、杉山博文先生と梶原淳先生の後任として循環器内科に宣原守先生と井口恵介先生が赴任しました。

のぶ はら まもる
宣原 守 先生



①内科(循環器)
②山梨県甲府市
③小さくてもそれぞれの専門家が集まり
協力し合いながら診療が行える病院
④映画鑑賞
⑤7年ぶりに戻って来てとても懐かし
く感じています。他の先生達に御指
導頂き、大学に戻って学んできたことを生かして、総合
的に患者様を診れる力を養いたいと思います。これから
は、職場のみなさんと力を合わせて地域に役立てる病院
作りに貢献していきたいです。

い ぐち けい すけ
井口 恵介 先生



①内科・循環器内科
②静岡県袋井市
③海に近いなあと
④サッカー
⑤内科医として地域医
療に貢献していきたい
と思います。至らな
いことも多いと思いますが、よろしく願
いいたします。

第23回院内合同研究発表会を開催しました

当院では、毎年2月に院内合同研究発表会を開催しています。昨年度は平成26年2月28日(金)に開催し、全7題の研究発表を行いました。

最優秀賞は、看護部西3階病棟が発表した「頸椎カラーを装着しギヤッジアップ制限下において食事摂取しやすい傾斜配膳台角度の検討」に決定しました。これは頸椎カラー(首固定具)装着中の食事摂取時における、ギヤッジアップ(ベッドの角度)30度の状態において食べやすい傾斜配膳台の角度は25度が妥当である、という研究内容を報告したものです。

こうした研究発表会は、各部門がどのような研究に取り組んでいるかを知る良い機会となります。

今後も各部署とも研究を続け、業務に生かすよう努めてまいります。



健康まつりを開催しました

平成26年3月15日(土)、第5回市立湖西病院健康まつりを開催しました。

1階中央待合ホールでは湖西市手をつなぐ育成会によるミュージックベル演奏や鷺津中学校、白須賀中学校、湖西中学校、新居中学校の生徒によるアンサンブルコンサートを開催しました。

2階では簡易健康診断や展示コーナー、寺田肇院長による「生活習慣病について」の講演を行い、多くの皆様にご参加いただきました。

これからも地域の皆様に親しまれる病院づくりを図り、よりいっそう地域への貢献ができるように努力をしてまいります。



手をつなぐ育成会



鷺津中学校



白須賀中学校



湖西中学校